

## 変形性膝関節症 重要用語・略語

### ●重要用語

Arthritis Self-Efficacy Scale(ASES)：患者が感じている関節炎固有の症状に対する自己効力感を測定するために開発された疼痛5項目、機能9項目、他の症状6項目からなる自己回答型の関節炎自己効力感尺度である。

Beck Depression Inventory-II score：21項目の自己回答式抑うつ症状評価スケールで、各項目は0～3点の4段階で評価する。点数が高い程、重度と評価される。

HADS (Hospital Anxiety And Depression Scale)：14項目の自己回答型の一般外来患者用不安抑うつ検査で、外来診療や検診における利用に適していると言われている。

IKDC：International Knee Documentation Committee Scoreの略。膝関節障害による症状、機能、スポーツ活動性に対する影響を検討するために作成された患者立脚評価法。18項目の質問からなり、症状7問、スポーツ活動性1問、日常生活活動9問、現時点での機能1問で構成される。

IKS：International Knee Scoreの略。膝関節の疼痛、屈曲可動性、安定性、位置異常、最終伸展制限)を検討するために作成された患者立脚評価法。

Kellgren-Laurence 分類：膝関節正面単純X線画像から膝関節裂隙と関節の状態により重症度を判定する評価方法。Grade 0は正常、Grade 1は疑い、Grade 2は軽度、Grade 3は中等度、Grade 4は重度に分類される。

KOOS(Knee Injury and Osteoarthritis Outcome Score)：膝関節の状況について、症状5問、こわばり2問、痛み9問、日常生活17問、スポーツおよびレクリエーション活動5問、生活の質4問からなる疾患特異的質問表。

Lequesne index：痛みおよび不快、最大歩行距離、日常生活活動を評価するために作成された患者立脚評価法。

Lysholm score：膝関節の疼痛(25点)、安定性(25点)、膝ロック(15点)、浮腫(10点)、跛行(5点)、階段(10点)、スクワット(5点)、サポートの必要性(5点)を評価するために作成された患者立脚評価法。

Progressive Resistance Training: 1 RM(Repetition Maximum)、つまり 1 回だけ可能な抵抗を設定して、30-69% of 1RM を低中負荷、70% of 1RM 以上を高負荷と分類する。筋力強化として、8-15 回反復運動を 1-4 セット、30-45 分の運動を週に 2-3 回行うことが推奨されている。

SF-36：健康関連 QOL (HRQOL: Health Related Quality of Life) を測定するための尺度で、身体機能、日常役割機能 (身体)、体の痛み、全体的健康感、活力、社会生活機能、日常役割機能 (精神)、心の健康を包括的に評価する。

TUG: Timed up and go test は、歩行能力、動的バランス、身体機能を統合した機能的移動能力を評価するテストとして考案され、椅子から立ち上がり、3m 先の目印を回って再び椅子に座るまでの時間を測定する。

WOMAC (Western Ontario and McMaster Universities Osteoarthritis Index)：変形性股関節症及び変形性膝関節症の特異的指標として開発された自己記入式で回答する患者立脚評価法。疼痛 5 問、こわばり 2 問、身体機能 18 問、社会機能 7 問、感情機能 10 問の計 42 問から構成される。

アライメント：整列線のなす角度。膝関節の場合、大腿脛骨角の正常値は 176~178° である。

グリコサミノグリカン：長鎖の通常枝分かれがない多糖で、動物の結合組織などあらゆる組織に存在し、代表的なものにヒアルロン酸やコンドロイチン、ヘパリンなどがある。

プロテオグリカン：特殊な構造をもつ糖とタンパク質の複合体で、複合糖質の 1 つであり、動物では多糖類であるグリコサミノグリカンとコアタンパク質が一定の様式で結合したものを指し、軟骨の主成分として存在している。

#### ●略語

HTO：High Tibial Osteotomy (高位脛骨骨切り術)

VAS：Visual Analogue Scale (視覚的アナログ尺度)

K-L 分類：Kellgren-Lawrence 分類